

## 2026年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
芸術	美術教養	2	3年次	石川 潤			
使用教科書	なし		使用副教材	なし			
科目の目標				道徳教育のねらい			
美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育て、生涯にわたり美術を学び親しむための基礎的な技術や美術に対するの教養を養う。				芸術を愛好し、美を探究する過程で、自然への感謝と生物に対する尊敬の念を持ち、他を思いやる心を育てる。			
学習活動内容		育てたい6つの力 (資質・能力)					
		1	2	3	4	5	6
		主体的学習	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自他認知・協働力	計画実行力
1	立体デザイン	○	○	○	○		○
2	ボックスアート	○	○	○	○		○
3	映像メディア表現	○	○	○	○		○
4	美術館鑑賞	○		○		○	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に取り組む態度			
	美術や美術文化を幅広く理解し、創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表しているか	感性や想像力を働かせて主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか		美術の文化を理解し、意欲的・主体的に授業に取り組んでいるか			
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。						
		授業での取組	作品	発表	鑑賞		
	関心・意欲・態度	○		◎	○		
	思考・判断	◎	◎	◎			
	技能・表現	○	◎	○			
知識・理解	◎	◎	○	◎			

# 美術教養 授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況	
月 (時 数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4月	立体デザイン	・石彫粘土を用いることで自由なかたちを作ることが可能であり、オリジナリティを発揮した作品を生み出す	・石彫粘土を用いて、小品（ゆるキャラ）を制作するためのコンセプトを練り、デザインを検討する ・制作した作品にアクリルガッシュで彩色し、完成度を高める (20)	20	
		ボックスアート	・木材と石粉粘土を用いて箱庭空間を作ることにより、空間認識能力を高め、立体表現への技術獲得を目指す	・木材と石粉粘土を用いて、箱庭を制作するためのコンセプトを練り、デザインを検討する ・制作した作品にアクリルガッシュで彩色し、完成度を高める (20)	20	
	8月	美術館鑑賞 (会期に合わせて挿入)	・本物の絵画や彫刻に触れ、そのよさを知るとともに美術を愛する心情を育てる	・函館美術館を訪問し、学芸員の方からの解説を受け、作品を鑑賞する (2)	2	
	9月	映像メディア表現 コマ撮リアニメーション	・スマホのアプリを活用することで、映像メディアに対する表現力を養うとともに、様々な表現技法や技術を習得し、新たな感性を引き出す	・絵コンテを作る ・様々なCMを鑑賞し、コンセプトを研究し、理解する ・スマホのアプリを活用し、表現技法を学び、効果的に利用する方法を学ぶ ・ムービーの内容を検討し、素材を撮影し、様々な加工を行う ・途中経過を互いに鑑賞し合い、より高いレベルでの動画の制作を行う (28)	28	
後 期	10月 ～ 1月	映像メディア表現（続き）	・それぞれが自由に制作したい内容を決め、その計画に沿って卒業制作を行う	・卒業制作として行いたいことを検討し、各自で制作を行う ・それぞれが制作した映像を鑑賞し合う		